

## 7. 処理手間物・困難物

処理手間物・困難物とは、通常のPCB廃棄物の処理に比べて手間・時間を要するものであって、令和2年7月まででトランス14台（全て平成30年度中に処理完了）、コンデンサ87台（内86台処理済み）、廃PCB油類558本（内138本処理済み）が存在しています。

これらのPCB廃棄物の種類、状況、処理方針、処理年度等については、以下に示すとおりです。

トランス類については、コアをコンクリートで固化したもの、地下設置物、高所設置物や水没したトランス、コアが炭化したもの等がありましたが、現地抜油・解体後処理施設に搬入する等の対応により、14台全て処理を完了しました。

同様に、コンクリート固化されたコンデンサや多量保管事業者の廃PCB油についても、次のとおり処理を進めています。

### 1) 処理手間物のコンデンサ

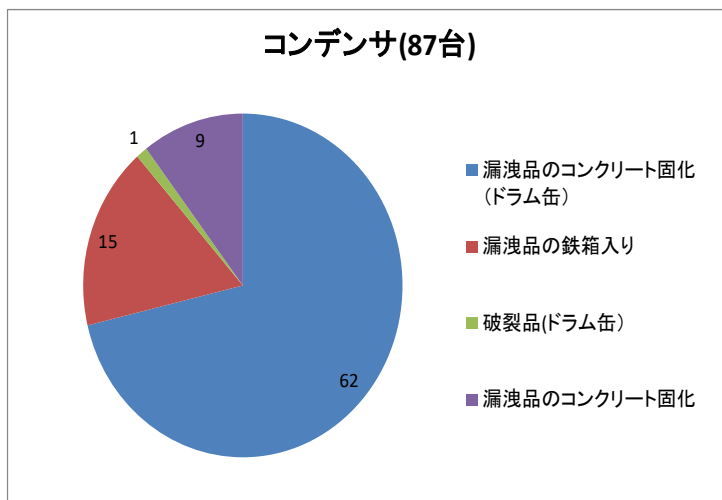


表-18 コンデンサの状況と処理方針

	種類	台数	重量kg/台	状況	処理方針	調査着手年度	処理済・または予定年度
①	漏洩品のコンクリート固化(ドラム缶)	62	10	破損品・漏洩品をコンクリート詰めし、ドラム缶に封入	保管者にてコンクリート除去、搬入後、ドラム缶ごとVTR処理	H26年度	H28年度済み
②	漏洩品の鉄箱入り	15	50	保管庫の入口を溶接し、保管鉄箱の蓋も溶接	保管者にて鉄扉、溶接箱の開封、漏洩品を補修(碍子部)後、VTR処理	H26年度	H28年度済み
③	破裂品(ドラム缶)	1	38	破裂コンデンサと汚染物の混入	保管者にて分別後、VTR処理	H26年度	H28年度済み
④	漏洩品のコンクリート固化	8	100~140	コンデンサの周囲に型枠を作り、コンクリートを流し込み固化	保管者にてコンクリート除去、搬入後、VTR処理	H27年度	H29年度済み
		1		コンクリートにて固化(写真)	保管者にてコンクリート除去、搬入後、VTR処理	H26年度	R2年度処理(予定)
合計		87					

処理完了